

**募集期間残り1か月半！！****教師の魅力プロジェクト～教師冥利に尽きるエッセイの募集～は  
令和2年12月31日(木)までです。**

国立大学法人大阪教育大学は、教師の魅力向上プロジェクトで教師冥利に尽きるエッセイの募集を行っておりますが、エッセイの募集の締め切りが残り1か月半になりましたことを受け、現状の投稿数の報告と、周知のお願いをさせていただきますたくりリリースいたします。

エッセイの投稿は、特設サイト「教師冥利に尽きるエッセイ」集から応募ができます。

[https://osaka-kyoiku.ac.jp/\\_essay/](https://osaka-kyoiku.ac.jp/_essay/)

**【概要】**

教師の魅力向上プロジェクトは、教師をめざす若者の減少という課題に対し、「教師になって次世代の児童・生徒と一緒に日本の未来を創りたい」という若者が全国的に増えることを目的とし、全国の教職等経験者から「教師冥利に尽きるエッセイ」を集め、Web 特設サイト による公開等を通して教師の魅力を発信するとともに、教師をめざす高校生や大学生等のキャリア教育教材として活用することを目的としています。資金調達は READYFOR (株) との業務提携によるクラウドファンディングにおいて調達しました。

6月24日に公開した特設サイトには、小学校20件、中学校7件、高等学校9件、大学5件、特別支援学校2件、その他校種3件と多種多様にあふれ、教師の魅力がたっぷり詰まったエッセイ集を公開しています。

例えば10月6日に掲載した「キセキのクラス」では、匿名でのエッセイにも関わらず、それを読んだ元生徒から「就職して人生に悩んでいたが、エッセイを読み高校時代を思い出した。明日からもう一度頑張ろうと思います」といったメッセージが投稿者に届き、新たな教師冥利を感じるような事もありました。

また、同プロジェクトのスピノフ企画で、「恩師への手紙～感謝の気持ちを伝えたい～」も展開し、様々な立場の人から恩師（お世話になった先生）への手紙も募集しております。教職の授業で教師冥利エッセイを教材として使用し、影響を受けて書かれた手紙「私の目標」もあります。

本学としても、エッセイをもっともっと増やしたいと思っています。エッセイの募集の締め切りまで残り1か月と半月となりました。教員採用試験の受験者が減少傾向にある中で、大変であることを理解しつつ、教師という職業を志望できるようなエッセイ集の構築をめざしてまいりますので、皆様からの投稿をお待ちしております。

**【本件に関する問い合わせ先】**

## ○プロジェクトについて

・大阪教育大学 理事・事務局長 新津

TEL:072-978-3204 (秘書室)

メール: niitsu-k55@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

## ○その他の問い合わせ

・大阪教育大学総務課広報室 中野

TEL:072-978-3344 FAX:072-978-3225

メール: kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

## キセキのクラス

高等学校

年度初めの始業式の日、AさんとBさん、2人の生徒が話しかけてきた。「仲の良いクラスが勝つんですよね。」1年生の頃から行事の度に私が言ってきたことだった。「そうだよ。今年は3年生だから、その本当の意味がわかるでしょう。頑張ってください。」「1年生の時からずっと考えてきたんです。今年はそうなりたいと思います。」これがキセキのクラスの始まりだった。

5月末の球技大会で男女とも惨敗した日、クラスの有志で決起集会を開いたらしい。「文化祭では全種目の賞状を取ります」Aさんが報告に来てくれた。「劇はCさんが仕切ります。Dさんが主役です。イベントもすごい企画があります。E君から聞いて下さい。」常々、目標が低いことに対して苦言を言ってきたので、ここは応援する他はない。「いいね。期待しとくよ。」私の知らないところでクラスが動き出したようだった。

数日後、E君がやってきた。「トロッコに乗って、掃除用具入れの上くらいの高さからスタートしてコースに沿って教室を1周するジェットコースター風のアトラクションをやろうと思います。」他校で実施例があり、図面もあるという。初めは全く想像できなかったが、図面を見て全体像がつかめたところで質問してみた。「第1カーブに入るときの速さの見積もりは？コースの中で一番安全に気をつけないといけない場所はどこ？」「この図面の通り作れば大丈夫と聞いたので、考えていませんでした。」「せっかく物理の勉強しているのだから考えて下さい。」その後、E君が出直してきた。「自分の計算結果で判断していいですか。」「他人の言うことより自分を信用した方がいいね。ただし強度には余裕を持たせよう。迷ったら相談に来て下さい。」「計算してみて、図面の意味がわかってきました。」その後、徐々にE君は技術屋の顔になっていった。

限られた日数で劇とイベント、両方の賞を狙うという壮大な計画は、クラス全員の個性が響き合う中で進行していった。Aさんの前向きな明るさ、Bさんの巧みな気配り、Cさんの演技指導の厳しさ、Dさんの存在感のある演技、E君の計画性と緻密さ。他にも、腕利きの木工職人F君、音響・音楽監督G君、下級生のアイドルH君、最終黒字に導いた名会計Iさん、人望で全体をまとめたJ君、…。それぞれが個性を發揮し、一丸となって劇とイベントに取り組んでいる様子はまぶしかった。生徒が帰った後の教室には木の香りが漂い、ジェットコースター用のパーツと劇用の大道具類が、日々、期待とともに積み上がっていった。

この年の文化祭も生徒の熱意と努力によって無事に全てのプログラムを終え、閉会式で各部門の賞が発表された。私のクラスは目標通り、劇とイベントのほぼ全ての賞に選ばれた。まさに圧倒的な存在感を学校中に示した瞬間だった。



LHR で私は生徒に感謝を伝えた。「ありがとう。キセキを見せてもらいました。それもクラス全員で起こしたことが素晴らしい。きっとみんなは社会に出てもキセキを起こせるでしょう。これを自信に、ぜひ社会でキセキを起こして下さい。期待しています。」

このときの生徒もそろそろ社会人。さて、どんなキセキを起こすのだろうか。



## 私の目標

中学校

中学生の時の私は、幼いころから抱いていた夢に「私になりたいのは本当にこの職業なのだろうか」という疑問を抱くようになっていました。そんな時、新任教師として私たちの学年に配属された先生は、いつも明るくて生徒との距離も近く、私にとってとても話しやすい存在でした。先生は3年間数学を私たちに教えてくれましたね。中学校の時期は数学が苦手になってしまう子が多いけれど、私は先生の数学の授業が毎回楽しみでした。数学に少しでも親しみを持ってもらえるようにと、ゲームを取り入れたり様々な点で工夫されていたのが印象的でした。3年生になり、私は生徒会役員として活動することになって、先生も生徒会担当として私たちの活動を後押ししてくれました。学園祭の期間は、ほぼ休みなしで毎日10時くらいまで学校で準備をしたりしたのをよく覚えています。

私にとってあの時間はかけがえのないものだったし、先生がいなければ実現しなかったものもたくさんあります。私たちのやりたいことを尊重してくれるのがとても嬉しかったです。ついに私の担任となることは1度もありませんでしたが、中学校3年間で一番関わったのは先生だと思います。私は、先生の姿を見て、「私もあんな風に生徒に関われる教師になりたい」という新しい目標を持つことができました。

そして今、私は教育学部の2年生として中学校の数学の先生になるために日々勉強しています。これからも私の目指す教師像に少しでも近づけるように、努力を重ねていきたいと思っています。先生がいなければ、教師になるという目標を持つこともありませんでした。先生にはとても感謝しています。先生、私に夢を与えてくれてありがとう。先生は私の目標です。



クラウドファンディング目標額達成により募集開始!!

## 教師の魅力向上プロジェクト

# 「教師冥利に尽きるエッセイ」の募集

応募締切  
令和2年

12/31

木

18歳人口が減少する中、変化の激しい社会に対応しなければならない時代だからこそ『教育』が今まで以上に重要であり、『教育は人なり』といわれるように、学校教育の成否は、教員の資質能力に負うところが極めて大きいとも言えます。

しかしながら、昨今、多忙化を中心とした教師のマイナスイメージを報道されることが多くなり、教員採用選考試験における受験者数の減少と競争率低下の一因となっています。

本プロジェクトは、全国の教職等経験者から「**教師冥利に尽きるエッセイ**」を集め、Web特設サイトによる公開等を通して教師という職業のやりがいや素晴らしさを世界に向けて発信し、教師をめざす者を一人でも多く増やすことを目的としています。



### 応募資格

#### 教職等経験者

幼稚園、認定子ども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学（短期大学、大学院を含む）、高等専門学校、専修学校、保育所、各種学校の現職及び退職された教員、養護教諭、栄養教諭、司書教諭、保育士

### 応募方法

- 1 「教師冥利に尽きる」エッセイ（本文800字～1600字程度）を、アンケートフォームにアクセスし、送信してください。事務局から受付完了のメールが届き次第、完了となります。
- 2 アンケートフォームには、氏名（ふりがな）、年齢、エッセイの中心となる学校種等及び連絡先を明記してください。
- 3 応募は未発表のものに限ります。（複数の応募も可能）
- 4 エッセイに登場する学校等名、氏名、学年などは個人情報保護の配慮をお願いします。

#### 応募送付先

次の2次元コードからアンケートフォームにアクセスしてください。

また、大学HPからもご応募いただけます。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/somu/okucf/20200121.html>

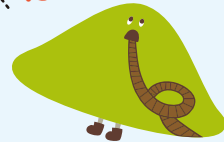


### エッセイの取り扱い

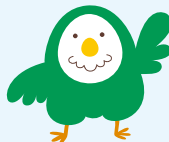
- 1 教師という職業のやりがいや素晴らしさを表現し、個人情報保護の配慮があるエッセイを、令和2年6月開設予定のWeb特設サイトに、「タイトル、学校種別、本文」のみ掲載します。
- 2 Web特設サイトの掲載に際しては、文言など多少校正させて頂く場合があります。
- 3 エッセイの著作権、出版権は大阪教育大学に帰属し、印刷・各種メディア（CD-ROM、インターネット等）、あらゆる媒体で教師の魅力向上のために使用させていただきます。



応募してね



よろしくね



国立大学法人

大阪教育大学

問い合わせ先・事務局

国立大学法人大阪教育大学総務課広報室 【E-mail】kouhou@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

# 「恩師への手紙」募集

～感謝の気持ちを伝えたい～



大阪教育大学公式キャラクター  
「やまお」



大阪教育大学公式キャラクター  
「たまごどり」

応募締切  
令和2年  
12/31(木)

大阪教育大学クラウドファンディング事業の第1弾である、「教師の魅力向上プロジェクト～教師冥利に尽きるエッセイの公開・活用～」プロジェクト(※)のスピノフ企画として、「恩師への手紙～感謝の気持ちを伝えたい～」を募集します。

恩師へ向けた感謝の気持ちを集約することにより、教師という『職業』の魅力や素晴らしさを世界に向けて発信し、教師を目指す者をより多く輩出することを目的としています。

楽しかった学校生活を思い出して、感謝の気持ちを伝える「恩師への手紙」をたくさん投稿してください。

※教師の魅力向上プロジェクトについてはこちらからご覧ください。→  
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/somu/okucf/20200121.html>



※応募資格：恩師への感謝の気持ちを伝えたい方どなたでも

## 応募方法

- (1) 「恩師への手紙」(本文400～800字程度)を、専用フォームから送信してください。事務局から受付のメールが届き次第応募完了となります。
- (2) 応募の際は、氏名(ふりがな)、年齢、手紙の中心となる学校種等、連絡先を明記してください。
- (3) 作品は未発表のもので、感謝の気持ちを伝える内容に限ります。複数の応募も可能です。
- (4) 手紙に登場する学校名等、氏名、学年などは、個人情報保護のための配慮をお願いします。

## 手紙の取り扱い

- (1) 恩師への感謝の気持ちを表し、個人情報保護の配慮がある手紙を、Web特設サイト「教師冥利に尽きるエッセイ」集の「恩師への手紙」コーナーに、「タイトル、学校種別、本文」のみ掲載します。
- (2) Web特設サイトの掲載に際しては、文言など多少校正させて頂く場合があります。
- (3) 応募された手紙の著作権、著作権は大阪教育大学に帰属するものとし、印刷、CD-ROM、インターネット等、あらゆる媒体で教師の魅力向上のために使用させていただきます。

「恩師への手紙」応募専用フォーム

<https://enq.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/smart/eq.asp?U=2009005024304079901>

